

報連相について

そろそろ3月の声を聞きますが、まだまだ寒い日が続きます。皆さん、健康と安全に気をつけてお過ごし下さい。2月2日の発表会アンド講演会には多数のご参加ありがとうございます。「なにを言っても、やる気も力もない上司に報告しても無駄だ。」という



専務取締役 吉田治伸

無記名アンケートの発表もありました。参加した人達のなかにはドキッとした人も多かったのではないのでしょうか。

昨年来、笑顔、元気、報連相と何度となく申しておりますが、その目的はひとつ。お客様満足度と社員のやりがいをアップするためなのです。

会社の諸活動がお客様に満足していただけるかどうかのポイントは、お客様との接点にいる社員一人ひとりの「ものの考え方」であり、その表現としての「言葉づかい」や「行動」なのです。企業の盛衰は、社員の「心」「言葉づかい」「行動」にかかっているといても過言ではないでしょう。

そういった「社員のレベルアップ」を考えた時、私たちは二つの事を常に確認しなければなりません。

一つは、「教えてない」ことによるマイナス。(これは論外)

もう一つは、「教わっても実行しない社員」と「教えた事を無視されても叱らない管理者」がいるマイナスです。

両方とも企業存続にまつわる非常にマズイ事です。そして、多くの場合、その事に会社が気付いていません。

報連相はそういったマイナスを取り除いてくれる大切な事なんです。もし、思う事あれば、是非いろいろ意見下さい。

これからの2ヶ月が当社が最高に忙しい時期です。契約更改、入札、特別作業・・・苦しいこの時期を乗り切って、また4月には同じ職場で笑顔でお会いできる事を楽しみにしております。